

【ポスター発表（5）】

団体名：特定非営利活動法人 にほんご豊岡あいうえお

日本語教室から始まる多文化共生のまちづくり

《活動目的》

豊岡市また兵庫県北部但馬地域で暮らしている外国にルーツを持つ人々に対して、日本語教室及び生活支援に関する事業を行っています。日本語が初めは話せなかったり、日本の文化に馴染めなかったり、友だちができなかったり…『あいうえお』は、そのようなひとが自立して、暮らしていけるように、寄り添い、支援をしています。国籍に関係なく、同じ地域の住民として、お互いに助け合って暮らしていける多文化共生のまちづくりに寄与することを活動の目的としています。

《具体的な活動》

☆日本語教室

定期クラス（初級、中級、上級）、初期適応クラス、日本語能力試験対策クラス、漢字クラス、ビジネスクラス等。（平成25年度 合計653回開講）

☆外国にルーツを持つ子どもとその家族の支援

教科学習支援教室、放課後指導、進路相談、夏休み子ども教室、子育て支援等

☆日本文化体験・地域のひととの交流

あいうえお茶会（年間12回開催）、夏休み子ども英会話教室、ウェルカムパーティー等

☆楽しく集い、何でも相談できる居場所づくり

多文化共生マネージャーによる生活相談、就職支援、外国人のための防災講座、通訳・翻訳等



▲あいうえお茶会



▲夏休み子ども英会話教室



▲防災講座

《団体紹介》

☆平成 23 年 1 2 月 設立。

☆ボランティアスタッフ、賛助会員、学習者数（平成 26 年 10 月現在）

- ・ボランティアスタッフ 17 名（うち事務局 2 名）
- ・賛助会員個人 98 名、法人 15 団体
- ・学習者数 59 名（12カ国）

連絡先 : 特定非営利活動法人にほんご豊岡あいうえお
住所 : 〒668-0055 豊岡市昭和町 2-50 河本ビル 102
TEL/FAX : (0796)20-4037
E-mail : aiueo_nihongo_toyooka@nike.eonet.ne.jp
ホームページ : <http://www.eonet.ne.jp/~aiueo-nihongo>
Facebook : Nihongo Toyooka AIUEO



事業実施概要

事業名称	散住地域における日本語教室からはじまる多文化共生のまちづくり
地域の課題	過疎地へ婚姻のために来日する女性が増えているが、支援体制が整っていない。 地域に日本語教室がなく、公共交通機関も不便であるため、孤立しがちである。
事業の目的	地域で通いやすい日本語教室を開設する。日本語教室を通じて、同じ地域に点在する学習者同士をつなぎ、楽しく集える居場所を作り、情報の発信やネットワークの推進を図る。地域住民にも、ボランティアへの参加を積極的に働きかけ、「生活者としての外国人」の存在を認識してもらい、多文化共生のまちづくりへの理解を深める。
事業の概要	日本語教育の実施
	名称：散住地域における生活者としての外国人のための出張日本語教室 目的：地元で無理なく継続して通える日本語教室を開催し、家族や周りのひととの円滑なコミュニケーションのための日本語や生活のための日本文化や習慣を学ぶ。 対象：地域で生活し、日本語支援を必要とする外国にルーツを持つひと 人数：10人（出身国：ベトナム、フィリピン、中国） 時間：週1回×2.5時間（全16回） 内容：初級日本語クラス
	日本語教育を行う人材の養成・研修の実施
	文化庁事業としては実施していない。 ※兵庫県豊岡市の補助事業として、日本語ボランティア養成講座を開催（全11回）
事業の概要	日本語教育のための学習教材の作成
	名称：学校の手紙を読もう 目的：手紙や連絡帳を読んで、必要な情報を収集することができる。 年間行事の内容や日時、場所、持ち物等、正確に理解できる。 対象：日本語支援を必要とする外国にルーツを持つひと 構成：本冊、資料1（学年便り）、資料2（公民館運動会） 本冊の語彙翻訳（英語・中国語・タイ語・ベトナム語）
成果と課題	今まで広い地域に点在していた学習者たちが、日本語教室を通してつながった。日本語の能力が向上したのはもちろん、日本の生活習慣や防災などに関する知識を学ぶことができた。さらに、平成26年度も引き続き『あいうえお』が日本語教室を開催していることにより、外国人住民の存在や日本語教室の必要性を行政や地域住民に理解してもらえ、行政主体の日本語教室の立ち上げにつながったことが一番の成果である。今後、コーディネーターやボランティアの養成、教室運営等、課題は山積みだが、これからますます地域に根づいた日本語教室が盛んになり、多文化共生への取り組みが広がっていくよう支援を続けていきたいと思う。
発表者から一言	豊岡市に拠点を置く『あいうえお』から香美町に出張して開催していた日本語教室が、地域のひとに協力をしていただきながら、町ぐるみで支援する日本語教室へと替わろうとしています。きっかけはひとりの学習者の声でしたが、学習者、支援者とも少しずつ増えていき、大きな支援の輪となりました。これからも日々努力したいと思っています。

